

宮川水系河川整備計画の点検

説明資料

令和5年10月26日

国土交通省 中部地方整備局
三重河川国道事務所

目 次

1. 河川整備計画の概要	
1) 河川整備計画の目標	1
2) 河川整備基本方針・河川整備計画の流量配分	2
2. 事業を巡る社会情勢等の変化	
1) 人口や世帯数等の流域内の状況変化	3
2) 宮川の近年における出水	4
3. 河川整備計画の整備（治水）メニュー	
1) 河川整備計画の整備メニュー（河川整備計画策定時）	5
2) 勢田川流域等浸水対策実行計画	6
4. 整備の進捗状況	
1) 整備の進捗状況	7
2) 実施中の事業	8
5. 今後の整備の進め方	
1) 事業の実施予定箇所	13
6. 宮川水系における利水に関する取組	
1) 渇水対策支部の設置状況	16
7. 宮川水系における環境に関する取組	
1) 水生生物調査による水質簡易調査	17
2) 水辺現地調査の実施及び種数の経年推移	18
3) 外来種の確認状況	19
4) 昼田・玉城地区地区水辺整備の取組	20
8. 宮川水系における維持管理に関する取組	21
9. 河川整備計画内容の点検結果	23

1. 河川整備計画の概要

1) 河川整備計画の目標

➤ 宮川水系河川整備計画で定めた以下の治水・利水・環境に関する目標の達成に向け、河川整備を実施します。

治水：洪水、津波、高潮等による災害発生の防止又は軽減

- ◆戦後2番目の洪水（宮川は平成16年9月洪水、勢田川は昭和57年8月洪水）と同規模に対して家屋等の浸水被害の防止を図ります。
- ◆昭和34年9月に発生した伊勢湾台風と同規模の台風が再来しても、高潮による災害の発生の防止を図ります。
- ◆整備計画規模を上回る洪水が発生した場合、整備途上で施設能力以上の洪水・高潮が発生した場合、さらに、大規模地震直後に津波・洪水・高潮に見舞われた場合に、その被害が軽減できるよう、危機管理対策を実施します。

利水：河川水の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- ◆水利用実態を考慮し、景観や動植物の生息・生育・繁殖・環境等の保全に努め、水利権の適正な見直し等により、河川水の適正な利用を図るとともに、関係機関と調整・連携して、合理的な水利用の推進や既存施設の有効活用の検討を進めます。これにより、流水の正常な機能を維持するために必要な流量の一部を回復するように努めます。

河川環境：河川環境の整備と保全

- ◆多様な動植物の生息・生育・繁殖環境や良質な水質の保全を図ります。
- ◆既存の良好な景観について、治水との整合を図りながら維持形成を図り、保全に努めます。
- ◆親水施設を通じて地域と連携し、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図り、歴史や文化にまつわる空間の保全を図ります。

維持管理

- ◆宮川の河川特性を踏まえた河川維持管理計画を作成し、河川の状況の監視・点検によって分析評価することで、適切な維持管理に努めます。

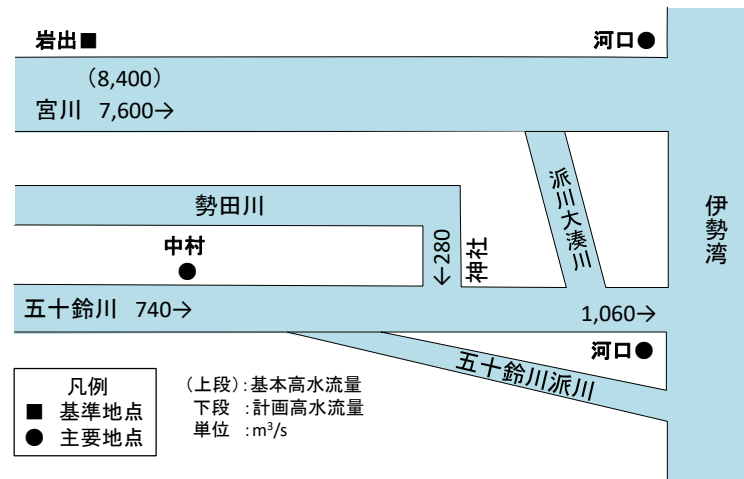
1. 河川整備計画の概要

2) 河川整備基本方針・河川整備計画の流量配分

- 河川整備基本方針では、宮川の基準地点：岩出における基本高水流量のピーク流量8,400m³/sとし、このうち、洪水調節施設等により800m³/sを調節することで計画高水流量のピーク流量を7,600m³/sとしました。
- 河川整備計画の整備目標流量は、岩出地点において7,800m³/sとし、このうち、洪水調節施設等により500m³/sを調節して河道整備流量※を7,300m³/sとしました。

河川整備基本方針(平成19年11月策定)

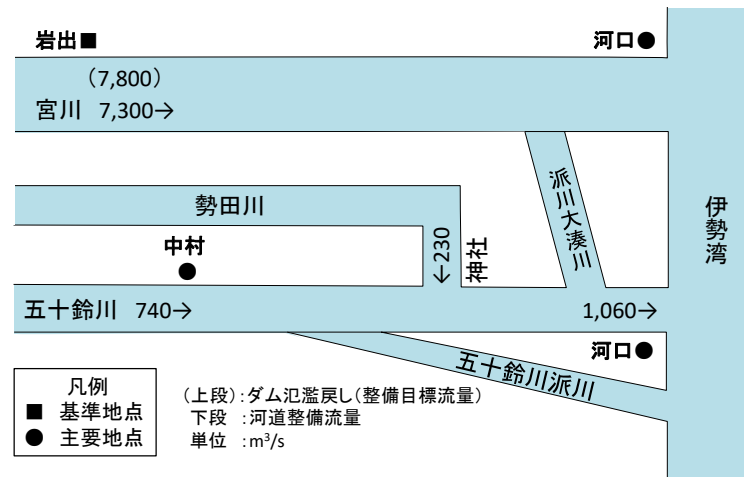
河川名	基準地点	基本高水のピーク流量 (m ³ /s)	洪水調節施設等による洪水調節量 (m ³ /s)	計画高水のピーク流量 (m ³ /s)	備考
宮川	岩出	8,400	800	7,600	



河川整備計画(平成27年11月策定)

河川名	基準地点	整備目標流量 (m ³ /s)	洪水調節施設等による洪水調節量 (m ³ /s)	河道整備流量※(m ³ /s)	備考
宮川	岩出	7,800	500	7,300	平成16年9月洪水

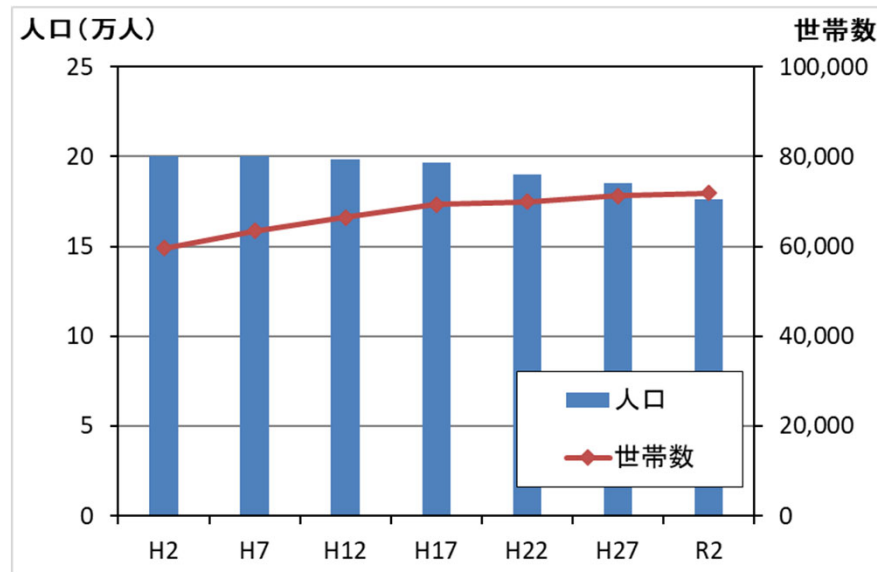
※河道の整備で対応する流量



2. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

1) 人口や世帯数等の流域内の状況変化

- 近年、宮川流域市町村の人口はやや減少していますが、世帯数は増加しています。また、流域の下流部に広がる伊勢平野には、伊勢自動車道、一般国道23号、近鉄山田線、JR参宮線等のこの地方の根幹をなす交通網の拠点があります。
- 伊勢神宮をはじめとした歴史的、文化的資産が多く存在し、今後も観光地として期待されている地域です。



関連市町の人口・世帯数の変遷

出典：国勢調査

流域市町村

- ・ 伊勢市 (旧二見町、旧小俣町、旧御園村含む)
- ・ 玉城町
- ・ 多気町 (旧勢和村含む)
- ・ 度会町
- ・ 大紀町 (旧大宮町、旧紀勢町、旧大内山村)
- ・ 大台町 (旧宮川村含む)



伊勢神宮内宮
(宇治橋)

2. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

2) 宮川における近年の出水状況

➤ 河川整備計画が策定された平成27年11月以降、宮川では平成29年10月に既往4番目に大きい洪水が発生し、勢田川流域では内水による甚大な浸水被害が発生しました。

◆主要洪水一覧

発生年月	原因	洪水流量※1 (岩出地点)	浸水面積※2	浸水家屋※2	
				床上	床下
昭和13年8月	低気圧による豪雨	約8,400m ³ /s (推定)	宮川下流部の堤防決壊により、城田村、御菌村、宇治山田市において浸水が発生		
昭和34年9月	伊勢湾台風	約4,700m ³ /s	高潮により海岸堤防が被災し、伊勢市の人家等の被害が激しく、被災者は約9万人		
昭和49年7月	台風第8号	約5,200m ³ /s	3,051 ha	3,224棟	10,924棟
昭和57年8月	台風第10号	約6,000m ³ /s	974 ha	453棟	2,059棟
平成2年9月	台風第19号	約6,500m ³ /s	0.5 ha	—	76棟
平成6年9月	台風第26号	約7,300m ³ /s	105 ha	27棟	72棟
平成16年9月	台風第21号	約7,800m ³ /s	174 ha	184棟	86棟
平成23年9月	台風第12号	約8,400m ³ /s	316 ha	108棟	82棟
平成29年10月	台風第21号	約6,900m ³ /s	3,034 ha※3	409棟※3	670棟※3

※1:流量はダムの洪水調節や氾濫がないとした場合の計算値

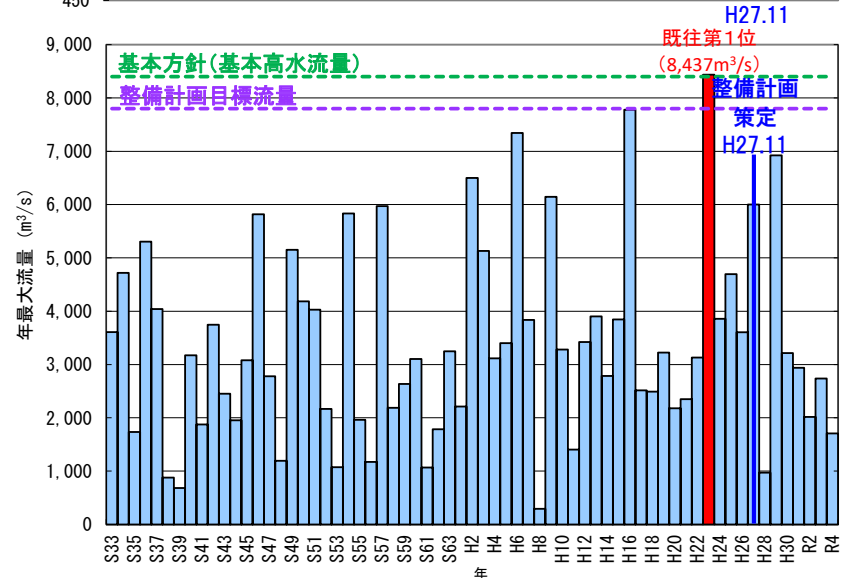
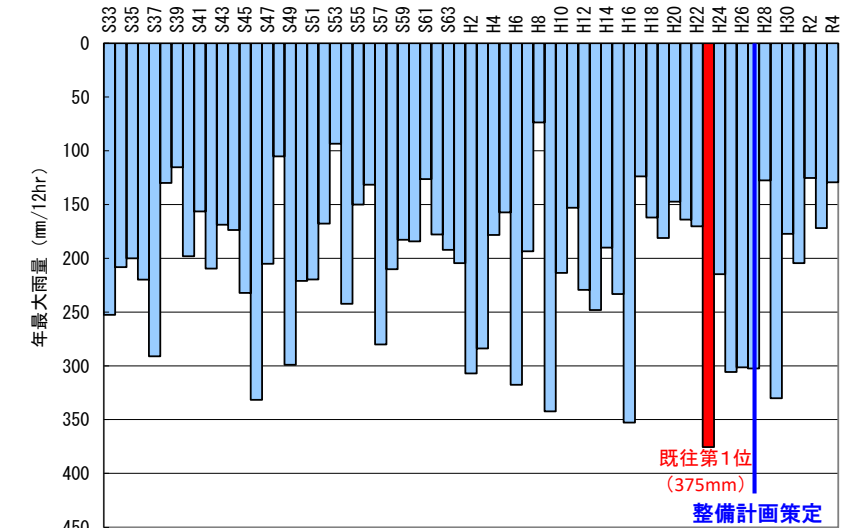
※2:浸水面積及び被害の出典「水害統計」

※3:伊勢市調査結果

■主に宮川付近による浸水被害

■主に勢田川付近による浸水被害

◆宮川 岩出地点 年最大流域平均雨量・流量



※ 流量は既設ダムや氾濫がないとした場合の計算値(R4は暫定値)

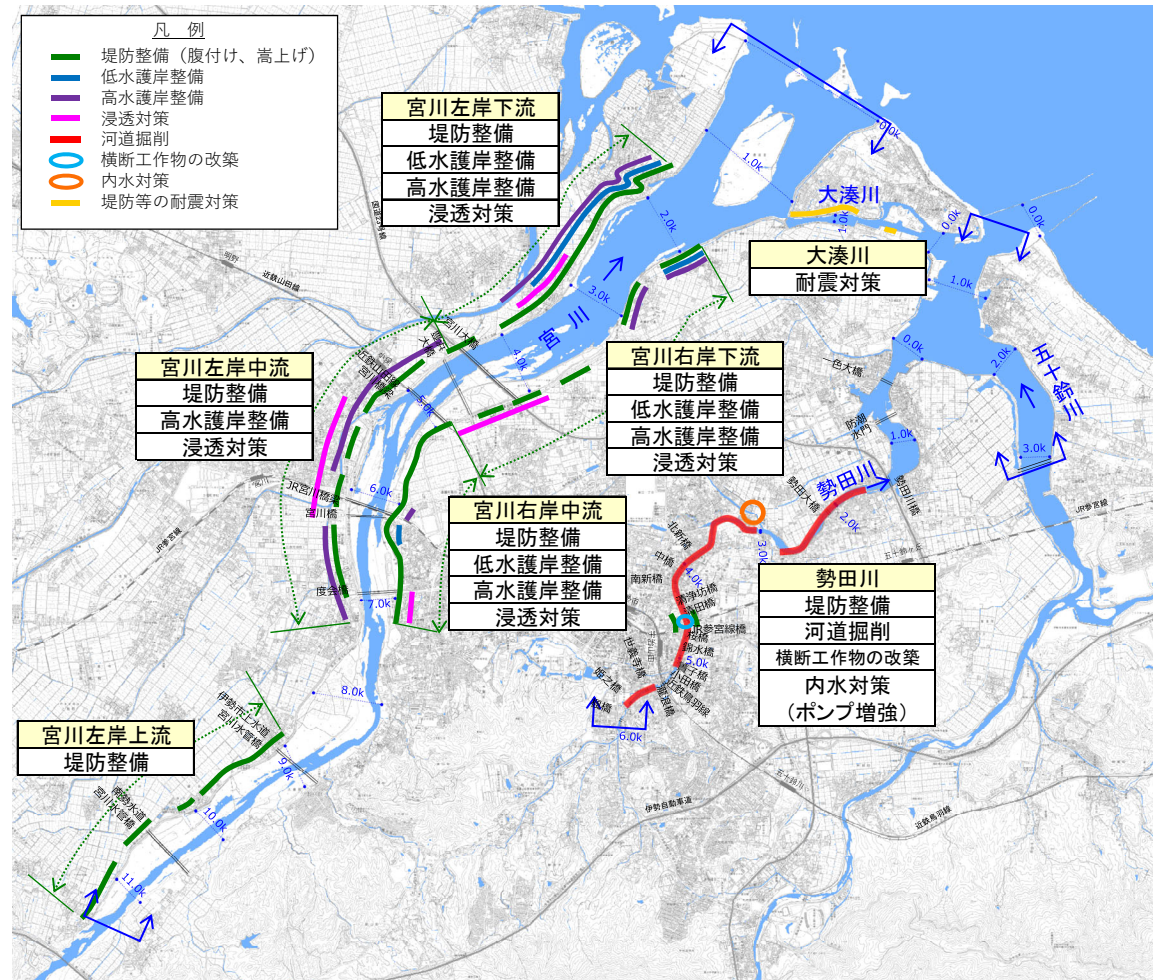
3. 河川整備計画の整備（治水）メニュー

1) 河川整備計画の整備メニュー（河川整備計画策定時）

➤ 河川整備計画（平成27年策定）に位置づけられている、概ね30年間で実施する主な整備内容は以下のとおりです。

▼河川整備計画での主な整備内容

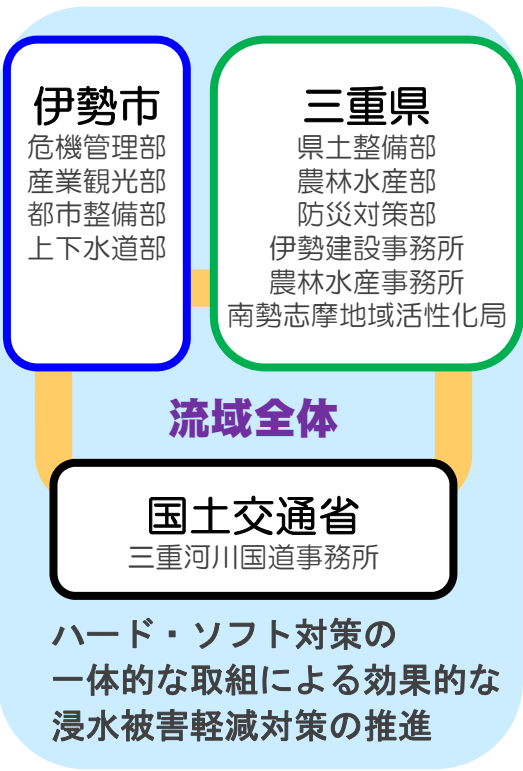
河川名	整備内容	
宮川	堤防整備 (腹付け、嵩上げ)	11.1km
	低水護岸整備	2.4km
	高水護岸整備	5.9km
勢田川	堤防整備	0.4km
	河道掘削	79千m ³
	横断工作物の改築	1橋
	内水対策 (桧尻川排水機場増強)	1施設
大湊川	堤防等の耐震対策	1.1km



3. 河川整備計画の整備（治水）メニュー

2) 勢田川流域等浸水対策実行計画

- ▶ 流域全体で、関係機関（伊勢市・三重県・国土交通省）が浸水被害軽減に向けた取組を実施するために「勢田川流域等浸水対策協議会」を平成30年1月に設立し、より効果的な対策を一体的に進めるための「勢田川流域等浸水対策実行計画」を平成30年6月に策定しました。
- ▶ 国土交通省は、これまでに短期整備として、勢田川の緊急的な堤防嵩上げや危機管理型水位計の設置を完了させました。現在、勢田川の河道掘削（R5年度完了予定）や松尻川排水機場ポンプの増強を実施しています。



【令和5年10月現在】
■ 実施済み
■ 実施中・今後実施

区分	カテゴリ	No.	対象河川(流域)	内容	事業主体	実施する目標期間	
						短期計画 (今後5年程度)	中長期計画 (今後20~30年程度)
ハード対策	河川整備	1	勢田川	緊急的な堤防かさ上げ	国土交通省		
		2	勢田川	河道掘削	国土交通省		
		3	勢田川	河道断面の拡幅	国土交通省		
		4	勢田川	勢田川排水機場ポンプ増強	国土交通省		
		5	勢田川	逆流防止フラップ弁配置	伊勢市		
		6	松尻川	松尻川排水機場ポンプ増強	国土交通省		
		7	松尻川(指定区間)	河道掘削	三重県		
		8	松尻川(指定区間)	河川整備	三重県		
対水排水		9	勢田川・松尻川流域	下水道整備	伊勢市		整備計画策定 3排水区整備を集中的に先行実施 黒瀬ポンプ場ポンプ増強
		10	勢田川・松尻川流域	流域における総合治水対策	国土交通省 三重県・伊勢市		
ソフト対策		11	勢田川	危機管理型水位計の設置	国土交通省		
		12	勢田川(指定区間・準用河川)	危機管理型水位計の設置	三重県 伊勢市		
		13	勢田川流域	洪水浸水想定区域の指定・公表	国土交通省		
		14	勢田川(指定区間)流域	洪水浸水想定区域図の作成	三重県		
		15	勢田川流域	洪水浸水想定区域の説明会の実施	国土交通省 伊勢市		
		16	松尻川(準用河川)	危機管理型水位計の設置	伊勢市		
		17	松尻川流域	洪水浸水想定区域図の作成	三重県		
		18	松尻川流域	洪水浸水想定区域の説明会の実施	三重県 伊勢市		
		19	勢田川・松尻川流域	ハザードマップの更新	伊勢市		H29年度更新 (勢田川流域、H29年10月浸水実績)
		20	勢田川・松尻川流域	防災啓発体制の強化	伊勢市		
		21	勢田川・松尻川流域	伊勢市防災大学の開催	伊勢市		
22	勢田川・松尻川流域	伊勢市防災コーディネーターの認定	伊勢市				
23	勢田川・松尻川流域	防災教育の強化	国土交通省 三重県・伊勢市				

4. 整備の進捗状況

1) 整備の進捗状況

- 整備目標流量を安全に流下させるため、堤防整備、河道掘削、内水対策を重点的に進めており、河川整備計画（平成27年11月策定）に基づく事業の進捗率は、事業費ベースで**64%程度**となっています。
- 引き続き、関係機関と十分な連携・調整を図りながら事業を実施していきます。

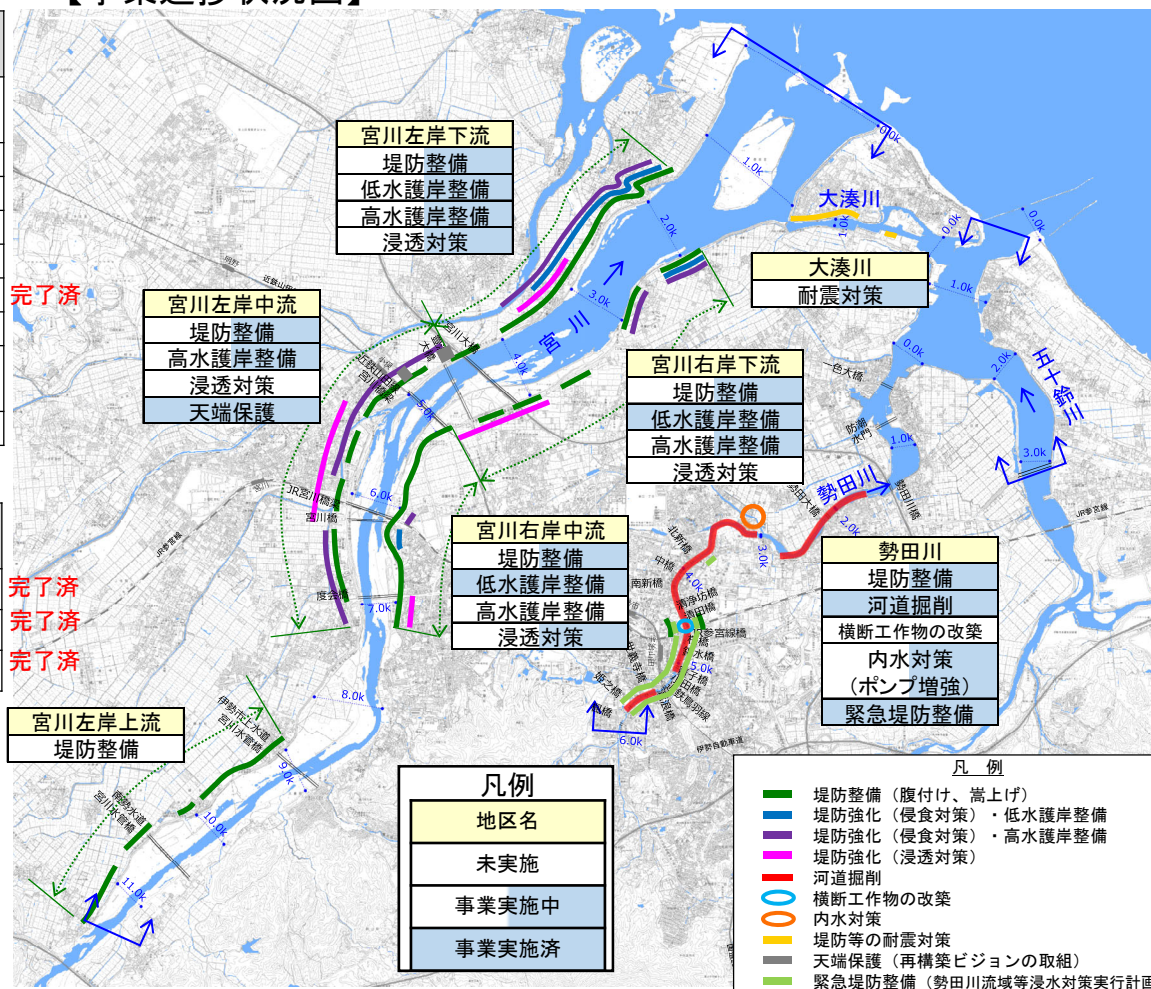
▼河川整備計画メニューの進捗状況

河川名	整備項目	整備所	R5年度末時点 整備箇所
宮川	堤防整備 (腹付け、嵩上げ)	11.1km	4.7km
	低水護岸整備	2.4km	1.9km
	高水護岸整備	5.9km	2.7km
	浸透対策	3.1km	0.6km
勢田川	堤防整備	0.4km	0.0km
	河道掘削	79千m ³	79千m ³
	横断工作物の改築 内水対策 (桧尻川排水機場増強)	1施設	0施設
大湊川	堤防等の耐震対策	1.1km	0.7km

▼追加メニューの進捗状況

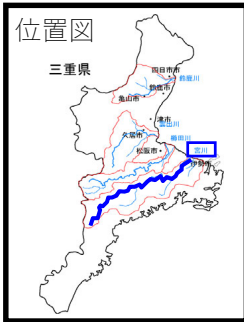
河川名	整備項目	整備所	R5年度末時点 整備箇所
宮川	天端保護	0.07km	0.07km
勢田川	緊急堤防整備	0.2km	0.2km
	緊急堤防整備 (嵩上げ)	1.4km	1.4km

【事業進捗状況図】



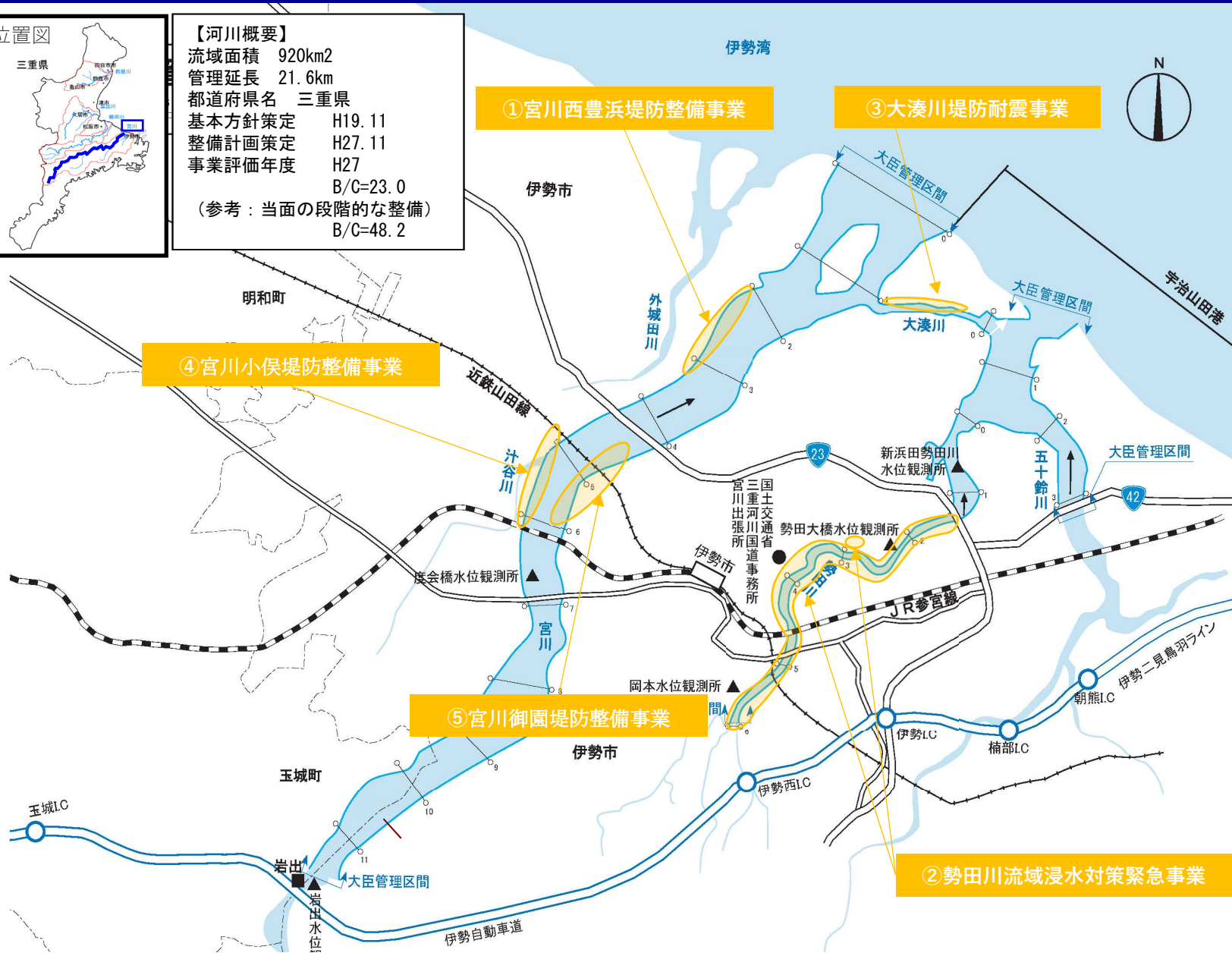
4. 整備の進捗状況

2) 実施中の事業



【河川概要】

流域面積	920km ²
管理延長	21.6km
都道府県名	三重県
基本方針策定	H19.11
整備計画策定	H27.11
事業評価年度	H27
	B/C=23.0
(参考：当面の段階的な整備)	B/C=48.2



4. 整備の進捗状況

2) 実施中の事業

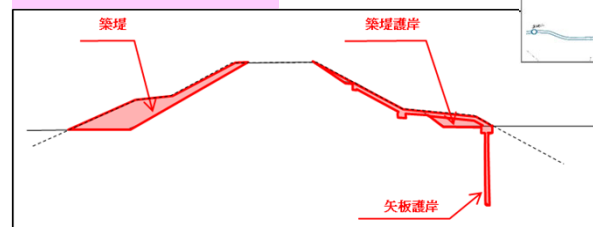
①宮川西豊浜堤防整備事業

- 宮川（伊勢市磯町地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、堤防整備を実施する必要があります。
- 現在、**堤防整備**を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後



4. 整備の進捗状況

2) 実施中の事業

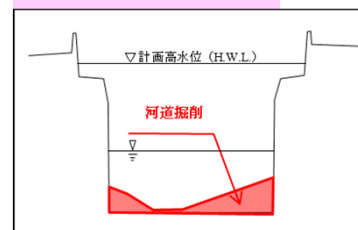
② 勢田川流域浸水対策緊急事業

- 勢田川（伊勢市田尻町地先他）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削等を実施する必要があります。また、内水対策としてポンプ増強を実施する必要があります。
- 勢田川流域では、平成29年10月台風第21号による浸水被害を受け、市、県、国で「浸水対策実行計画」を策定し、三者で総合的・一体的に対策を進めています。
- 現在、河道掘削、ポンプ増強（桧尻川排水機場）を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後

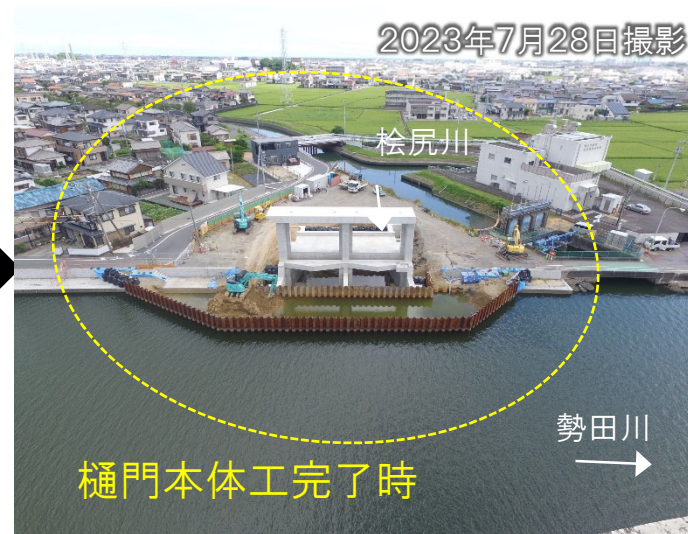


4. 整備の進捗状況

2) 実施中の事業

② 勢田川流域浸水対策緊急事業

対策状況（桧尻川排水機場ポンプ増強）



桧尻川排水機場ポンプ増強本體工事 着工式



4. 整備の進捗状況

2) 実施中の事業

③大湊川堤防耐震事業

- ▶ 大湊川（伊勢市大湊町町地先）では、大規模地震等で基礎地盤の液状化等により堤防の沈下、崩壊、ひび割れ等が生じた場合、浸水による二次災害及び津波による被害の恐れがあります。そのため、耐震対策を実施する必要があります。
- ▶ 現在、**耐震対策**を実施しており、引き続き、事業を実施します。

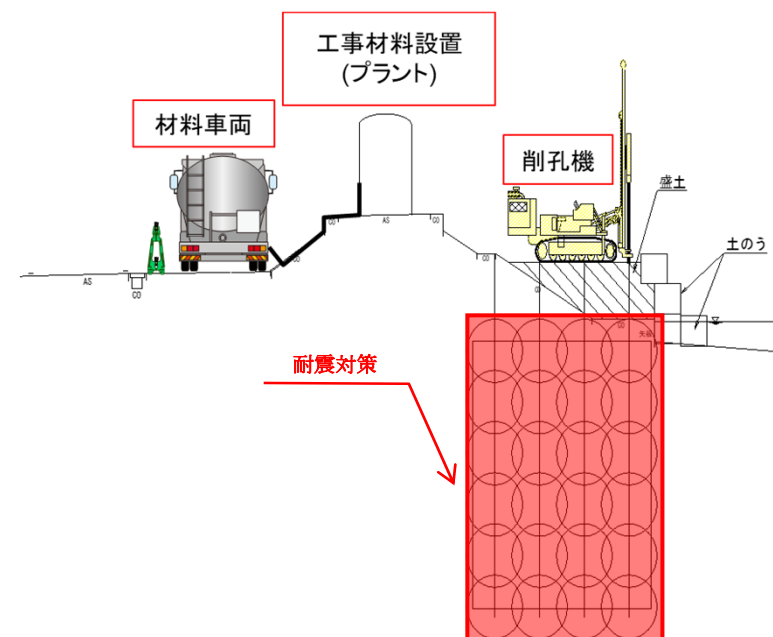
位置図



対策中



工事イメージ図



4. 整備の進捗状況

2) 実施中の事業

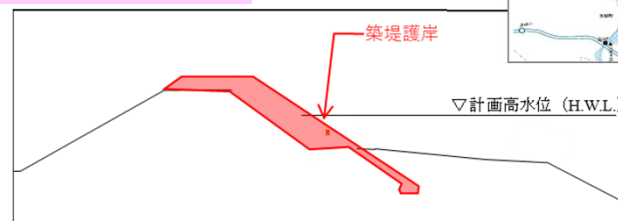
④宮川小俣堤防整備事業

- 宮川（伊勢市小俣町地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、堤防整備を実施する必要があります。
- 現在、**堤防整備**を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前

2022年11月14日撮影



対策後

2023年4月7日撮影



4. 整備の進捗状況

2) 実施中の事業

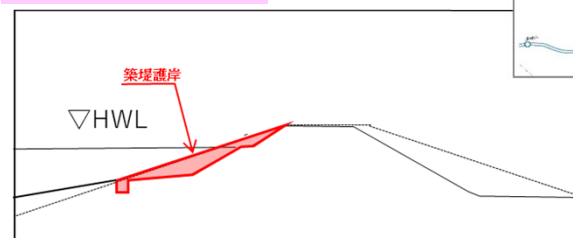
⑤宮川御菌堤防整備事業

- 宮川（伊勢市御菌町地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、堤防整備を実施する必要があります。
- 現在、**堤防整備**を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前

2022年7月8日撮影



対策後

2023年3月1日撮影

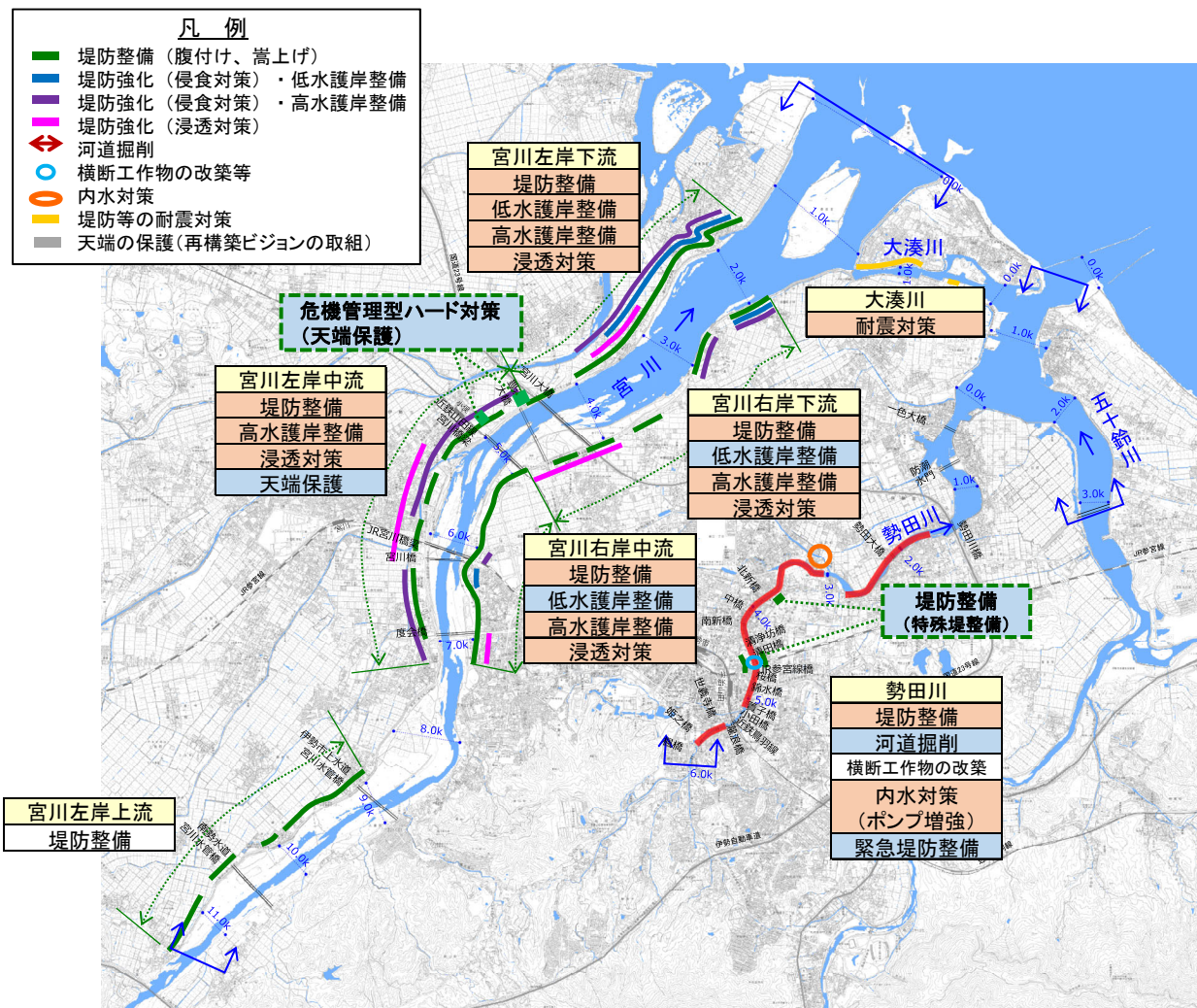


5. 今後の進め方

1) 事業の実施予定箇所

➤ 引き続き、堤防整備、河道掘削、護岸整備等を関係機関と十分な連携・調整を図りながら実施していきます。

凡例	
地区名	
未実施	
実施中 当面5年以内に実施予定	
事業実施済	

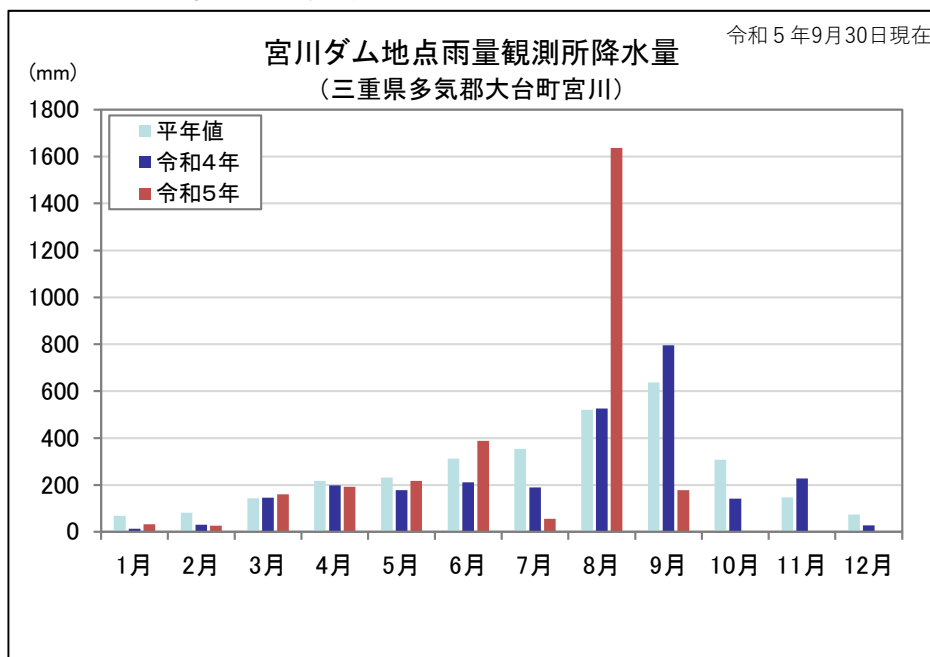


6. 宮川水系における利水に関する取組

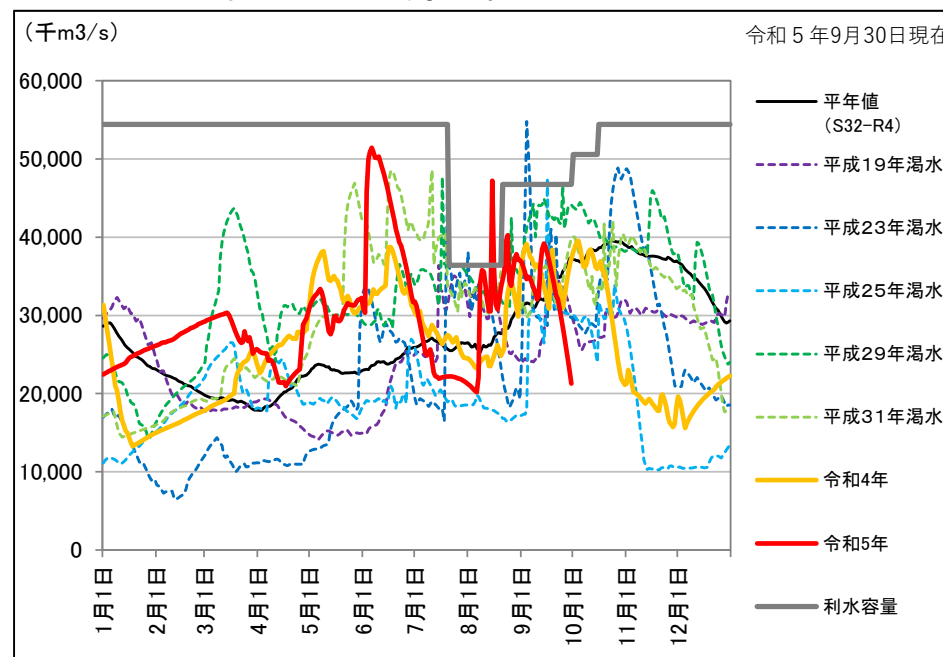
1) 渇水対策支部の設置状況

- 宮川ダム地点では、令和5年の5月から7月にかけて平年と比較して少雨の傾向であったものの、8月には平年の降水量を上回りました。令和5年の7月には平年の降水量の15%ほどでしたが翌8月には平年の3倍超の降雨量となり貯水量が回復しました。9月も少雨傾向にあり、平年の降水量の28%にとどまっています。
- なお、宮川流域では、R4年度～R5年度にかけて大きな渇水は発生しておらず、「渇水対策支部」の設置及び「渇水調整協議会」の開催もありませんでした。
- 引き続き、河川流況およびダム貯水量等の監視を実施し、取水の安定化も含めた、流水の正常な機能の維持管理に努めます。

◆宮川上流域の雨量状況(R4・R5)



◆宮川ダムの貯水容量図(R4・R5)



7. 宮川水系における環境に関する取組

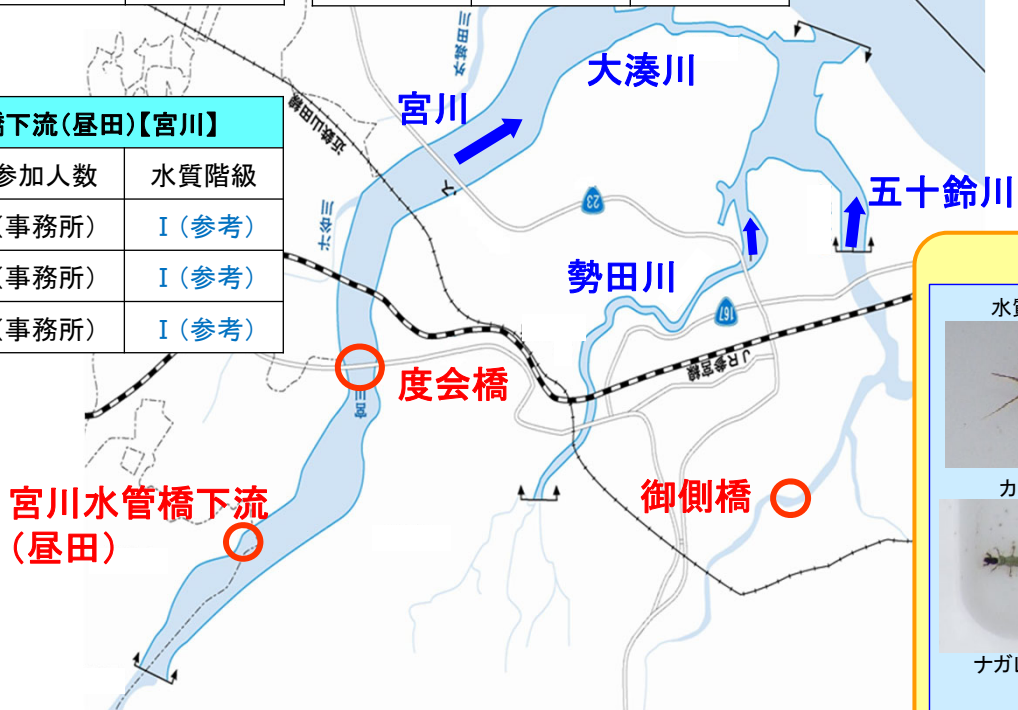
1) 水生生物調査による水質簡易調査

- 宮川における水生生物調査の実施状況について、今年度は公募の結果、小学校等の団体参加による実施はありませんでした。
- 生物学的な水質判定指標からみて、良好な水質環境が保たれていると考えられます。

度会橋【宮川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和3年	(事務所)	II (参考)
令和4年	(事務所)	II (参考)
令和5年	(事務所)	I (参考)

御側橋【五十鈴川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和3年	(事務所)	I (参考)
令和4年	(事務所)	II (参考)
令和5年	(事務所)	II (参考)

宮川水管橋下流(昼田)【宮川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和3年	(事務所)	I (参考)
令和4年	(事務所)	I (参考)
令和5年	(事務所)	I (参考)



水生生物調査の実施状況

御側橋(R5)



度会橋(R5)



確認された指標生物 (R5調査)

<p>水質階級 I</p> <p>カワゲラ類</p>	<p>水質階級 II</p> <p>カワニナ類</p>	<p>水質階級 IV</p> <p>ユスリカ類</p>
<p>ナガレトビケラ類</p>	<p>コオニヤンマ</p>	

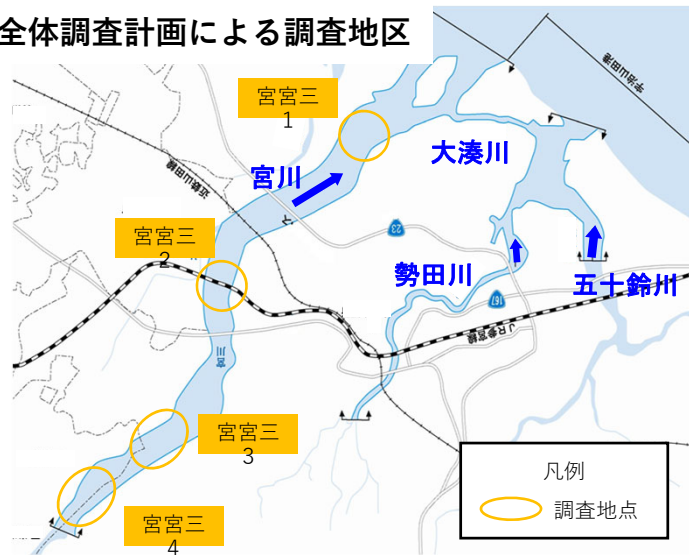
※参考: 川の生き物を調べよう 水生生物による水質判定
環境省水・大気環境局、国土交通省水管理・国土保全局 編

7. 宮川水系における環境に関する取組

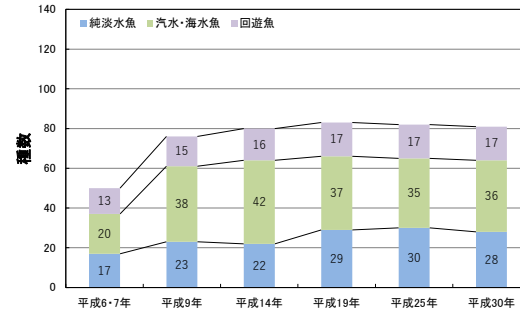
2) 水辺現地調査の実施及び種数の経年推移

- 生物の確認種数は、近年は概ね増加傾向にあります。
- 植物群落は、河口部に特徴的な塩沼植物群落は平成22年まで増加傾向でしたが、平成27年に減少し、令和2年にフクド群落の面積増加等により大きく増加しています。また、樹林地面積は、近年減少傾向にあります。

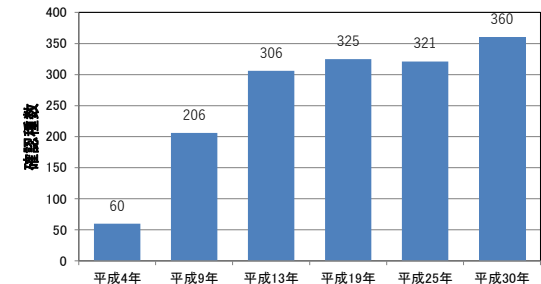
全体調査計画による調査地区



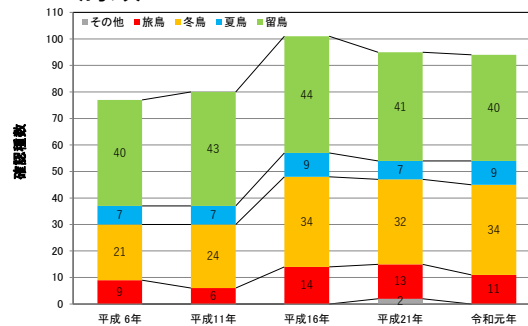
魚類



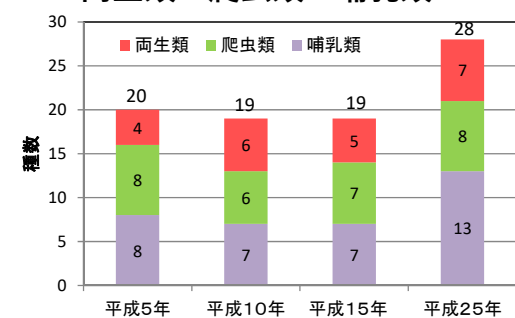
底生動物



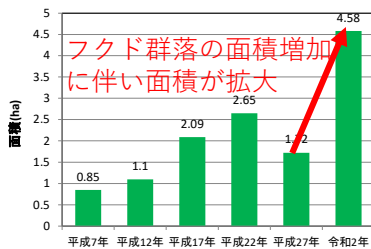
鳥類



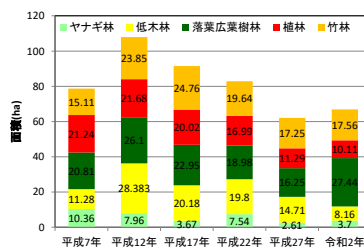
両生類・爬虫類・哺乳類



塩沼植物群落

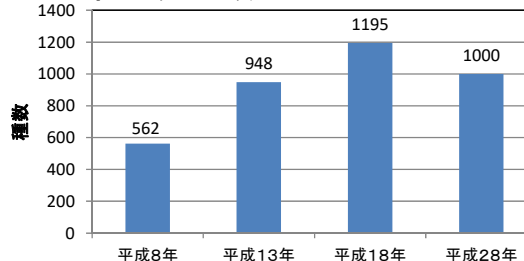


樹林地

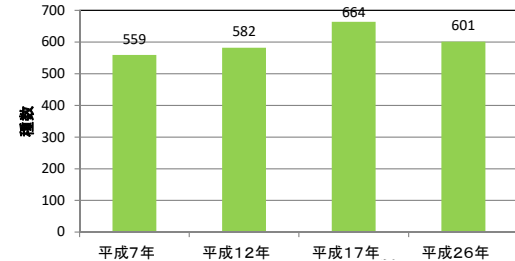


主な植物群落の面積変化 (宮川本川)

陸上昆虫類



植物



水辺現地調査における確認種数の推移

7. 宮川水系における環境に関する取組

3) 外来種の確認状況

- 生態系等に悪影響を与えるものとして指定されている特定外来生物は、宮川では近年確認種が増加しています。特に、魚類については個体数が平成19年に大きく増加しています。
- 植物群落については、外来植物群落の面積比率は16%程度で、三重四国では低い比率となっています。最も面積の大きい外来植物群落であるセイタカアワダチソウ群落の面積変化を見ると、平成27年までは減少傾向だったものの、平成27年から令和2年にかけて増加しています。

特定外来生物の確認状況

	種名	平成6年	平成9年	平成14年	平成19年	平成25年	平成30年
魚類	カダヤシ					●	●
	ブルーギル	●	●		●	●	●
	オオクチバス		●	●	●	●	●

	種名	平成5年	平成10年	平成15年	平成25年
両生類	ウシガエル	●		●	●

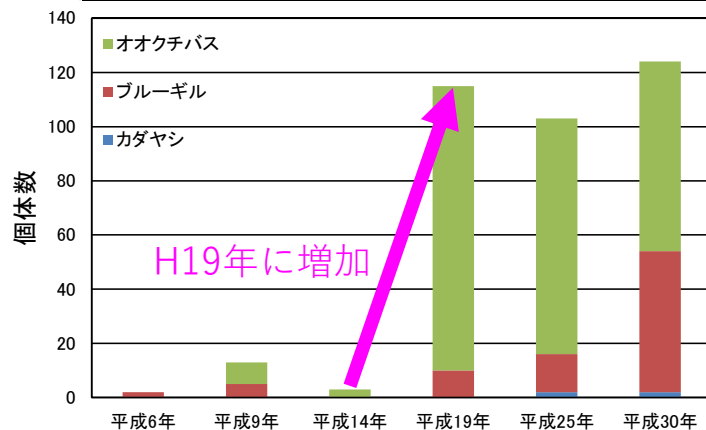
	種名	平成7年	平成12年	平成17年	平成26年	令和2年
植物	オオキンケイギク				●	●



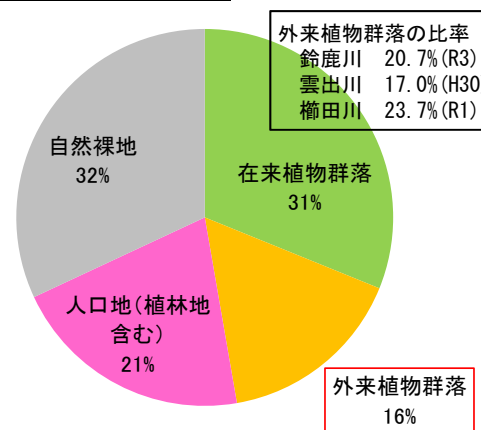
オオクチバス



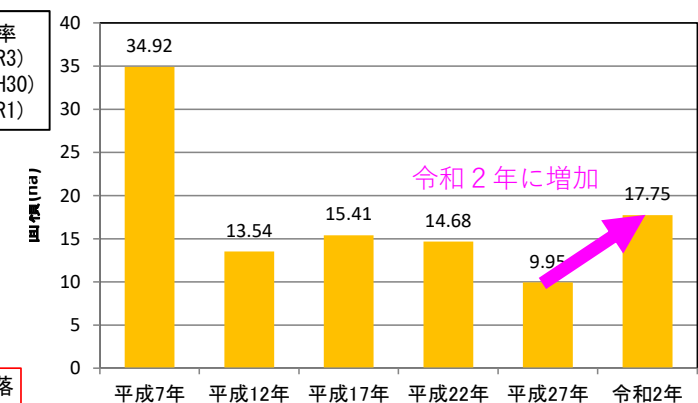
カダヤシ



特定外来生物（魚類）の確認個体数の推移



植物群落の面積比率 (R2) (宮川本川)

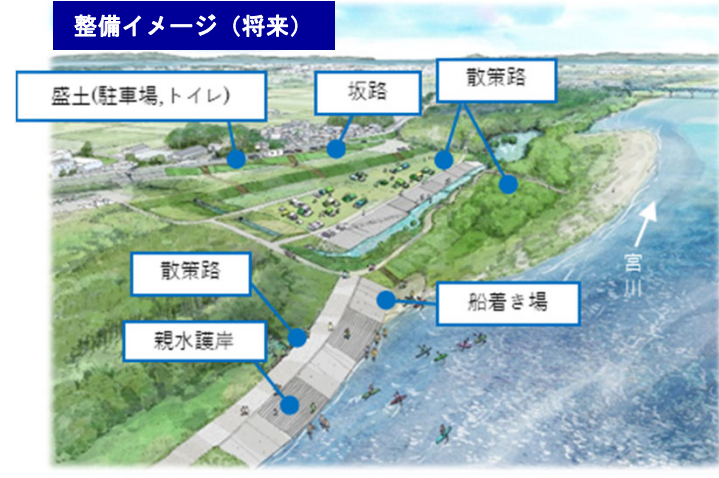
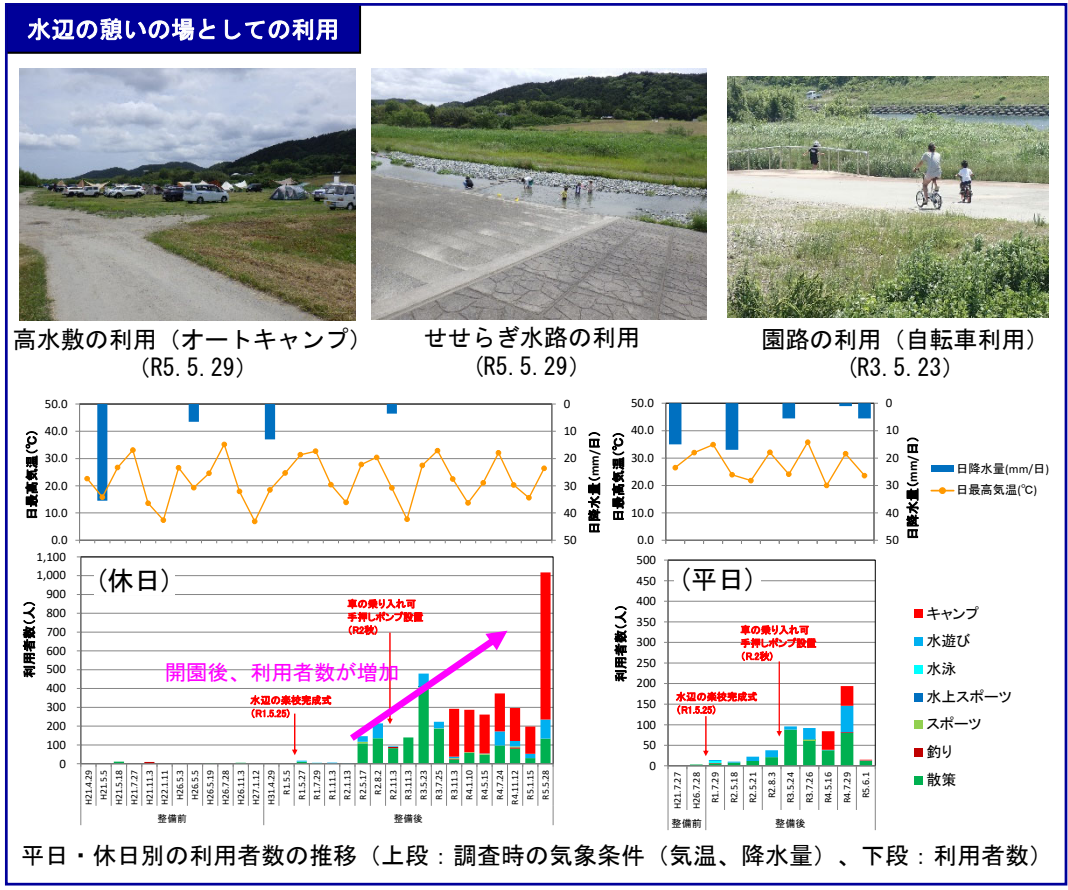


外来植物（セイタカアワダチソウ群落）の面積の推移 (宮川本川)

7. 宮川水系における環境に関する取組

4) 昼田・玉城地区水辺整備の取組

- 令和元年5月に昼田水辺の楽校が整備されて以来、自然を活かした環境教育や自然観察の場として利用されています。近年は、キャンプの場としての利用が拡大しており、休日にはのべ200人を超える利用がされています。
- 利用ニーズが拡大している水辺の楽校を活用した、まちと水辺が一体となったにぎわいある空間づくりによる地域活性化を目指し、令和5年8月に『玉城町かわまちづくり計画』が新規登録されました。
- 更なる利用活性化を図るため、盛土や散策路等の整備を進めていきます。



8. 宮川水系における維持管理に関する取組

- 河川維持管理は、河川巡視・点検により状況把握を行い、維持管理対策を実施します。得られた知見を分析・評価して、河川維持管理計画に反映するというサイクルの体系を構築しています。

維持管理

治水

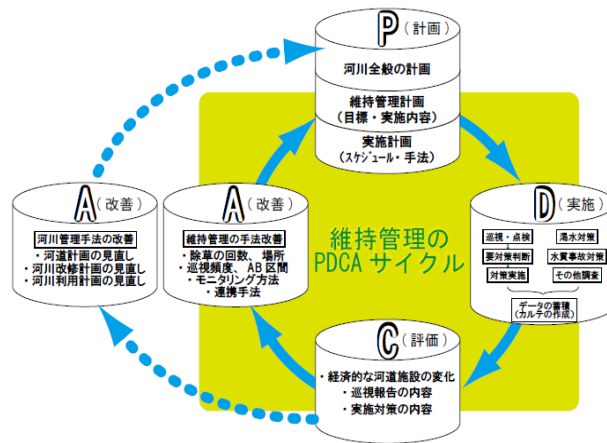
河川の巡視・点検・調査
河川管理施設等の点検・維持管理
河道の維持管理
危機管理対策

利水

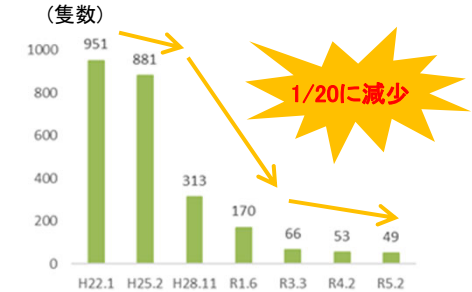
流量等のモニタリング
渇水時の対応等(水利用の調整)

河川環境

河川空間の保全と利用
水難事故の防止
不法占用・不法行為等の防止
住民参加と地域連携による川づくり



勢田川等水面利用対策協議会
(不法係留船対策)



協議会設立後の不法係留船舶数の推移



堤防除草



出水期前点検



重要水防箇所の合同巡視



宮川渇水調整協議会



安全な河川敷地利用連絡協議会
(水難事故対策)

8. 宮川水系における維持管理に関する取組

河川維持修繕事業

- 不法投棄対策として、樹木の伐採を行いました。
- 今後も、河道の状況等を把握しながら、適切な維持管理に努めていきます。

対策前

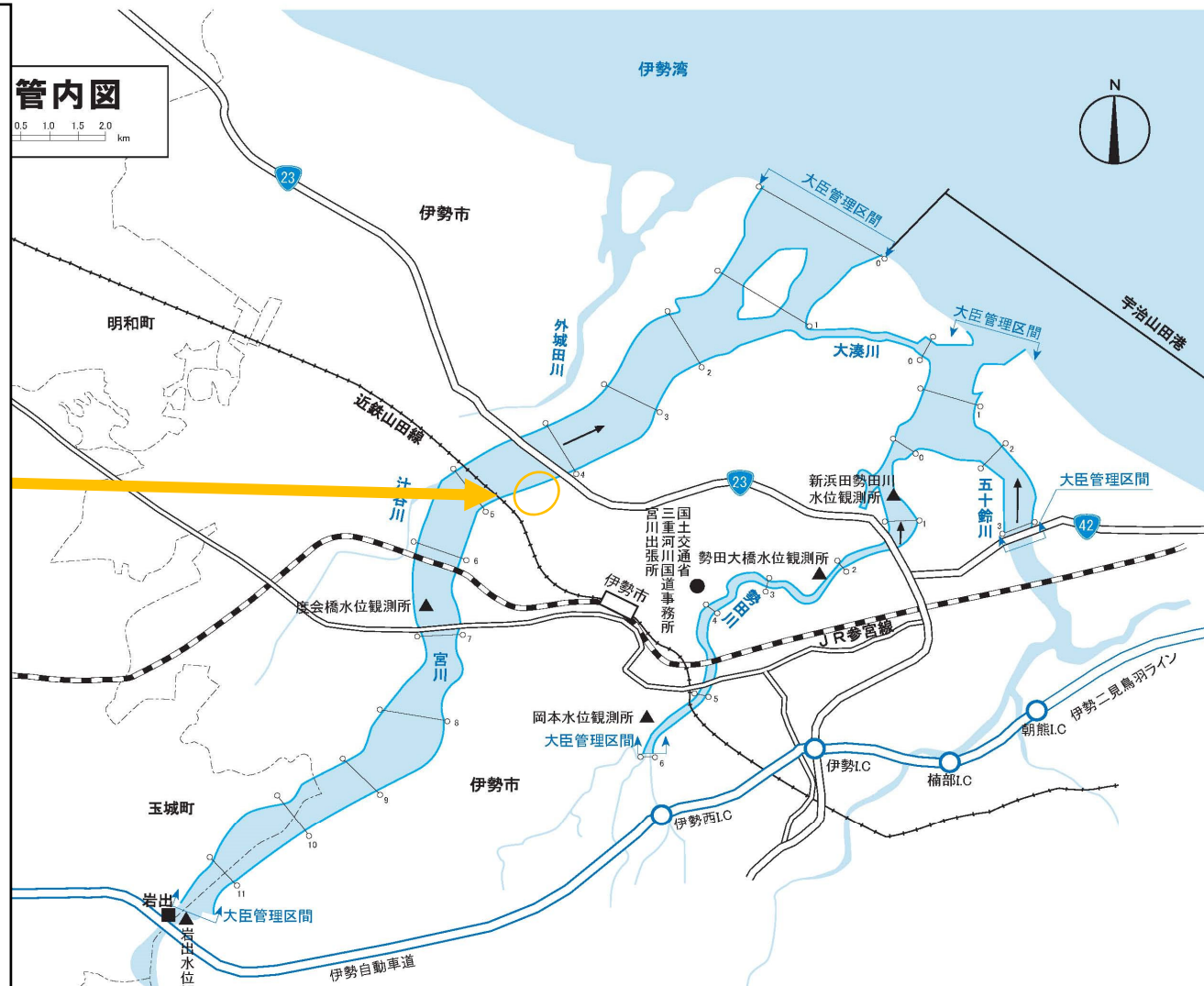
2022年4月27日撮影



2022年5月28日撮影



対策後



9. 河川整備計画内容の点検結果

- 「勢田川流域等浸水対策実行計画」の浸水対策、現河川整備計画に基づき、河川整備を実施していきます。
- また、社会情勢等の変化や全国的に広い範囲で記録的な大雨による浸水被害等を踏まえて、気候変動に対応した河川整備計画の見直しも視野に入れて、具体的な対策に向けた検討を進めていきます。

社会情勢等の変化

- ◆ 流域内の人口はやや減少していますが、世帯数は増加しています。
- ◆ 河川整備計画策定（平成27年11月）以降、宮川では整備目標流量を超える洪水は発生していませんが、勢田川においては整備目標流量を超える洪水が平成29年10月に発生し、内水氾濫を主要因とした浸水被害が生じました。
- ◆ 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、「流域治水」への転換が必要とされています。

河川整備の進捗・実施状況

宮川水系河川整備計画は、平成27年11月に策定され、約8年経過しています。社会情勢の変化状況を確認し、整備計画の進捗状況について点検を実施しました。

◆ 治水に関する河川整備

「勢田川流域等浸水対策実行計画」に基づき、勢田川において河道掘削や桧尻川排水機場のポンプの増強を実施しております。また、中長期対策に向けて検討を進めています。

◆ 利水に関する河川整備

河川水の適正な利用を図るとともに、関係市町と調整・連携して、同計画に定めている利水に関する河川整備を実施しております。

◆ 河川環境に関する河川整備

河川水辺の国勢調査の結果を踏まえ、地域住民や関係機関等と連携し、同計画に定めている河川環境に関する河川整備を実施しております。

◆ 維持管理に関する河川整備

同計画に基づき、維持管理しております。